

KOBE HPC スプリングスクール（中級）開催報告

2019年3月13日（水）～2019年3月15日（金）、神戸大学計算科学教育センター、兵庫県立大学大学院シミュレーション学研究科、理化学研究所計算科学研究センターの共催による「KOBE HPC スプリングスクール（中級）」を、神戸大学計算科学教育センターセミナー室、及び兵庫県立大学演習室にて、開催しました。

本スクールは、大学や研究機関等に所属する学生・若手研究者を対象とし、スーパーコンピュータを駆使した大規模な計算機シミュレーションを実施し、新しい計算科学の世界を開拓したいと考えている若手研究者、企業の研究者を育成することを目的にしたシミュレーションスクールです。また、今回は2018年8月6日より5日間にわたって開催された「KOBE HPC サマースクール（初級）」のアドバンスト版とし、昨夏のサマースクール受講者8名を含む18名が受講しました。

初日には、村瀬洋介研究員（理化学研究所計算科学研究センター）による「網羅的アプローチによる社会シミュレーション」と題する講演を行い、本スクールでは最後となる理化学研究所計算科学研究センターのスーパーコンピュータ「京」の見学を行った後、兵庫県立大学のスパコンを利用した講義・演習がスタートしました。講義終了後には、受講者間の交流や意見交換の機会として交流会を行いました。昨夏のサマースクール参加者からスクール参加による成果報告が行われ、スクールで学んだことが研究に活かされていることに講師陣から喜びの声が上がりました。また受講者同士での会話も弾み連絡先を交換するなど、盛況となりました。



2日目は、八木学特別研究員（理化学研究所計算科学教育センター）を講師とし、OpenMPを用いたスレッド並列化、MPIを用いたプロセス並列と合わせたハイブリッド並列について学びました。

最終日は、午前に横川三津夫先生（神戸大学先端融合研究環・教授）による、MPIの片方向通信やコミュニケータなど、よりアドバンストなMPIの講義・演習が行われ、午後からは今村俊幸先生（理化学研究所計算科学研究センター・チームリーダー）を講師に、並列数値計算ライブラリの使い方について学習し、演習によりその利用法を習得しました。



受講者は皆最後まで熱心に取り組んでおり、全講義終了後には、修了証書授与、集合写真撮影を行い、スクールを無事終了することができました。

終了後のアンケートでは、「サマースクールに引き続き非常に勉強になった」、「やはり中級は少し難しかった」というコメントと共に、「さらに上級編を受講したい」「同様のスクールの案内を希望する」といった要望もいただきました。

2019年8月には、理化学研究所計算科学研究センターにて、並列計算に関する初級者向けのサマースクールを開催する予定です。

詳細は追って、Web ページなどでお知らせいたします。

